

職層研修「新任研修（経験者）」

【第1回】	【実施日】	5月10日（火）、11日（水）9：00～17：00
	【受講決定者数】	30名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・国、都道府県、市区町村の仕事を具体的に知ることができました。そして業務の根拠を理解しておくことが大切だと学びました。また、地方自治で重要なのは地域特性を考え住みよい社会を作ることだと学びました。 ・地方財政の意義、地方税の種類、歳入歳出などについて学びました。国の財政、地方自治体の財政、区の財政、所属事務所課の財政、日々の経費といったマクロとミクロの視点で現状を把握する事が必要であると感じました。 ・具体事例を用いた問題を通して、公務員倫理を学びました。想像以上に職務外での行動についても禁止事項等があり、公務員であることを常に意識して行動することが大切だと学びました。 ・様々な面で人権の問題が生じていること、分類の多さに驚きました。どの問題においても、日頃から相手を尊重することや、自分と違う事情や境遇について知ろうとすることが、権利を侵害しないことに繋がると学びました。
【第2回】	【実施日】	5月12日（木）、13日（金）9：00～17：00
	【受講決定者数】	248名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・特別区という基礎自治体について学びが深まりました。同じ基礎自治体であっても特別区ならではの都との仕事の分担や、地方自治法の内容を確認することで、今後業務を遂行するにあたっての枠組みを理解でき、勉強になりました。 ・予算の要求から実際に執行されるまでの流れ等、実務でも活かせる内容が含まれており、大変勉強になりました。また班のワークでは、各区の特色について、当該区に所属されている方から理由も含めて分析内容を聞いたのが新鮮で面白かったです。 ・民間より法律や制度で守られている部分が多いと感じた側面、その分民間よりも情報漏洩や個人情報の取り扱いについては大変厳しいものがあるとも感じました。常に公務員として区民から見られているという意識を持ち、職務に臨むことが必要だと感じました。

		<ul style="list-style-type: none">・ 普段の生活ではあまり意識することがなかったのですが、多様な人権問題があり、公務員が対策、啓蒙していくべきことがあることを学びました。正しい知識を持つこと、相手を思いやることが大切であることもよく認識できました。
--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------